



## Cisco IP Phone ハードウェア

---

- [電話機の概要, 1 ページ](#)
- [Cisco IP Phone 8811, 3 ページ](#)
- [Cisco IP Phone 8841 および 8845, 8 ページ](#)
- [Cisco IP Phone 8851 および 8851NR, 13 ページ](#)
- [Cisco IP Phone 8861 および 8865, 18 ページ](#)
- [用語の違い, 23 ページ](#)

### 電話機の概要

Cisco IP Phone 8800 シリーズは、インターネットプロトコル (IP) ネットワーク経由の音声通信を提供します。Cisco IP Phone は、デジタル ビジネス フォンとほぼ同様に機能し、電話コールの発受信に加えて、ミュート、保留、転送、スピードダイヤル、コール転送などの機能を使用できます。また、データネットワークに接続するため、IPテレフォニー機能が拡張され、ネットワーク情報やサービス、およびカスタマイズ可能な機能やサービスにアクセスできるようになります。

Cisco IP Phone 8811 は、グレースケール LCD 画面を備えています。

Cisco IP Phone 8841、8845、8851、8851NR、8861、および 8865 は、24 ビット カラー LCD 画面を備えています。

Cisco IP Phone の機能は次のとおりです。

- 最大 5 回線をサポートするプログラム可能な機能ボタン。このボタンには他の機能をプログラムすることもできます。
- フル ビデオ機能 (Cisco IP Phone 8845 および 8865 のみ)
- ギガビット イーサネット接続機能
- ワイヤレス ヘッドセットの Bluetooth サポート (Cisco IP Phone 8845、8851、8861、および 8865 のみ。この機能は Cisco IP Phone 8811、8841、および 8851NR ではサポートされません)
- 外部マイクロフォンとスピーカーのサポート (Cisco IP Phone 8861 および 8865 のみ)

- Wi-Fi によるネットワーク接続機能 (Cisco IP Phone 8861 および 8865 のみ)
- USB ポート :
  - Cisco IP Phone 8851 および 8851NR には USB ポート X 1
  - Cisco IP Phone 8861 および 8865 には USB ポート X 2

Cisco IP Phone 8845 および 8865 は、内蔵ビデオカメラによるビデオ コールをサポートしています。この機能を使用すれば、友人や同僚とコラボレーションしたり、電話機を使ってフェイス ツーフフェイス会議を開催することができます。

ビデオ コールには次の機能があります。

- ピクチャインピクチャ (PIP) : 右下、右上、左上、左下の4つのポジションから選択。PIP 表示をオフにすることもできます。
- スワップ (Swap) : PIP ビュー内で表示を切り替えます。PIP がオフになっているときは、切り替えソフトキーはグレー表示になります。
- ビデオの最小化 (Minimize Video) : 表示されるビデオのサイズを縮小します。[ビデオの表示 (Show Video) ] を選択すると、ビデオ表示に戻ります。
- ビデオのセルフビュー (Self-view Video) : [ビデオのセルフビュー (Self-view Video) ] を選択すると、ビデオに表示される場合と同様に画像が表示されます。
- ビデオ UI および会議/転送開始 (Video UI and Conference/Transfer Initiation) : 会議を開始する場合に選択します。

Cisco IP Phone 8845 と 8865 には手動シャッターがあります。シャッターを開くと、ビデオ コールを開始されます。シャッターを閉じると、ビデオブロードキャストが停止されます。次の発信者にビデオがブロードキャストされるのを防止するために、各コールの後にはカメラのシャッターを閉じてください。

ビデオ コールの詳細については、『*Cisco IP Phone 8800 Series User Guide for Cisco Unified Communications Manager*』および『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Understanding Video Telephony」の章を参照してください。

Cisco IP Phone は、他のネットワーク デバイスと同様に設定と管理を行う必要があります。これらの電話機は、次のコードのエンコードとデコードを行います。

- G.711 a-law
- G.711 mu-law
- G.722
- G.729a/G.729ab
- G.726
- iLBC
- L16
- OPUS

- iSAC



注意

セル方式の電話、携帯電話、GSM 電話、または双方向ラジオを Cisco IP Phone のすぐ近くで使用すると、相互干渉が発生することがあります。詳細については、干渉が発生するデバイスの製造元のマニュアルを参照してください。

Cisco IP Phone は、コール転送や転送、リダイヤル、スピードダイヤル、会議コール、ボイスメッセージング システムへのアクセスなど、従来のテレフォニー機能を提供します。Cisco Unified IP Phone では、さらにその他の各種の機能も提供します。

Cisco Unified IP Phone は、他のネットワーク デバイスと同様に、Cisco Unified Communications Manager および IP ネットワークの他の部分にアクセスできるように設定する必要があります。DHCP を使用すると、電話機上で設定する内容が少なくなります。ただし、ネットワークで必要な場合は、IP アドレス、TFTP サーバ、サブネット情報などの情報を手動で設定できます。

Cisco Unified IP Phone は、IP ネットワーク上の他のサービスやデバイスと連携することで、高度な機能を提供できます。たとえば、Cisco Unified Communications Manager を社内の Lightweight Directory Access Protocol 3 (LDAP3) 標準ディレクトリと統合すると、ユーザが同僚の連絡先情報を IP Phone で直接検索できるようになります。XML を使用すると、天気予報、株価情報、商品相場などの Web ベースの情報にユーザがアクセスできるようになります。

さらに、Cisco Unified IP Phone はネットワーク デバイスであるため、詳細なステータス情報を IP Phone から直接取得することができます。この情報は、ユーザが IP Phone を使用しているときに生じた問題をトラブルシューティングするのに役立ちます。また、現在のコールに関する統計情報や、ファームウェアのバージョンも電話機で取得できます。

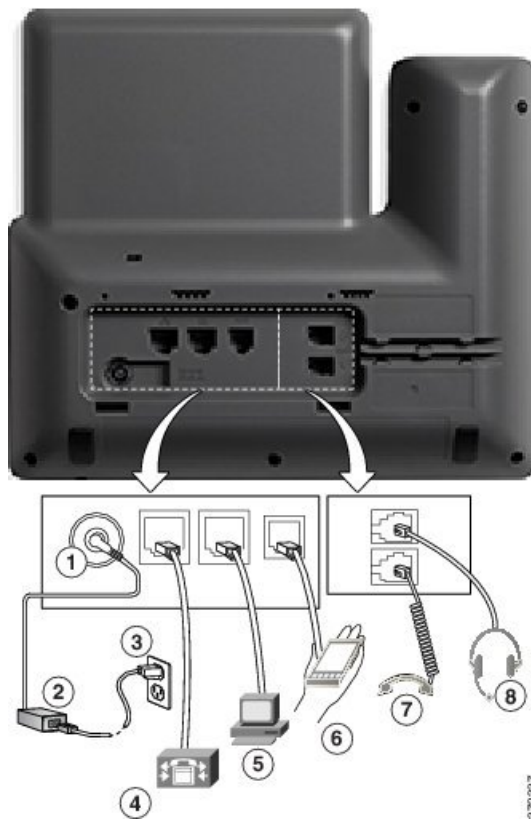
Cisco IP Phone を IP テレフォニー ネットワークで機能させるには、IP Phone を Cisco Catalyst スイッチなどのネットワーク デバイスに接続する必要があります。また、コールを送受信する前に、Cisco IP Phone を Cisco Unified Communications Manager システムに登録する必要があります。

## Cisco IP Phone 8811

ここでは、Cisco IP Phone 8811 の属性について説明します。

### 電話機の接続

次の図を使用して、企業 IP テレフォニー ネットワークに電話機を接続します。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100/1000 PC) 接続
2	AC-DC 電源装置 (任意)	6	補助ポート
3	AC 電源コンセント (任意)	7	ハンドセットの接続
4	ネットワーク ポート (10/100/1000 SW) 接続 IEEE 802.3at 電源対応。	8	アナログ ヘッドセット接続 (任意)













(注) Cisco IP Phone 8811 は Cisco IP Phone 8800 キー拡張モジュールをサポートしません。





## ボタンとハードウェア



1	ハンドセットのライトストリップ	着信コール（赤く点滅）または新しいボイスメッセージ（赤く点灯）があることを示します。
2	電話スクリーン	電話機に関する情報（電話番号、アクティブコールと回線のステータス、ソフトキーオプション、スピードダイヤル、発信コール、および電話機のメニューなど）を表示します。Cisco IP Phone 8811 のスクリーンはグレースケールです。

<p>3</p> <p>プログラム可能な機能ボタンとセッションボタン</p> 	<p>電話機には、電話回線、機能、コールセッションに簡単にアクセスできる次のようなボタンがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プログラム可能な機能ボタン（左側）：回線のコールの表示、またはスピードダイヤルやすべてのコールなどの機能へのアクセスに使用します。これらのボタンは機能ボタンとも呼ばれます。</li> <li>• セッションボタン（右側）：コールへの応答、保留中のコールの再開、または（アクティブコールで使用していない場合）不在着信の表示などの電話機能の開始を含むタスクに使用します。電話機の各コールは、セッションボタンに関連付けられています。</li> </ul> <p>(注) アラビア語など右から左に読むロケールを使用する場合、ラインボタンとセッションボタンの位置は入れ替わります。</p> <p>システム管理者が行った電話機の設定に応じて、ボタンは次のいずれかにアクセスします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話回線およびインターコム回線</li> <li>• 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤルボタン、回線ステータス短縮ダイヤル機能を含む）</li> <li>• Web ベースのサービス（個人アドレス帳ボタンなど）</li> <li>• コール機能（プライバシーボタンなど）</li> </ul> <p>表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑、点灯：アクティブコールまたは双方向のインターコムコール</li> <li>• 緑、点滅：保留コール</li> <li>• オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中、一方向のインターコムコール、サイレントがアクティブ、またはハントグループにログイン中</li> <li>• オレンジ、点滅：着信コールまたは復帰コール</li> <li>• 赤色、点灯：リモート回線の使用中（共有回線または回線ステータス）</li> <li>• 赤、点滅：リモート回線が保留中</li> </ul>
--	---

4	ソフトキー ボタン 	システム管理者が行った電話機の設定に応じて、有効なソフトキー オプションが電話スクリーンに表示されます。
5	ナビゲーションクラス タと選択ボタン 	[ナビゲーションクラスと選択 (Navigation cluster and Select) ] ボタンを使用して、メニューをスクロールしたり、項目を強調表示したり、強調表示されている項目を選択したりすることができます。
6	リリース ボタン 	接続されたコールまたはセッションを終了します。
7	保留/復帰ボタン 	アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。
8	会議ボタン 	会議コールを開始します。
9	転送ボタン 	コールを転送します。
10	スピーカーフォン ボタ ン 	スピーカーフォン モードのオン/オフを切り替えます。スピー カーフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。
11	ミュート ボタン 	マイクロフォン モードのオン/オフを切り替えます。マイク ロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。
12	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセット モードのオン/オフを切り替えます。ヘッドセット がオンになっているときは、ボタンが点灯します。

13	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、また項目番号を入力してメニュー項目の選択を行います。
14	音量ボタン 	受話器、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）および呼出音の音量（オンフック）を制御します。
15	連絡先ボタン 	[ディレクトリ (Directories)] メニューを開閉します。連絡先ボタンを使用して、個人および社内のディレクトリにアクセスします。
16	アプリケーションボタン 	[アプリケーション (Applications)] メニューを開閉します。アプリケーションボタンを使用して、電話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。
17	メッセージボタン 	ボイス メッセージング システムを自動的にダイヤルします (システムによって異なります)。
18	戻るボタン 	直前の画面またはメニューに戻ります。
19	ハンドセット	電話機のハンドセットです。

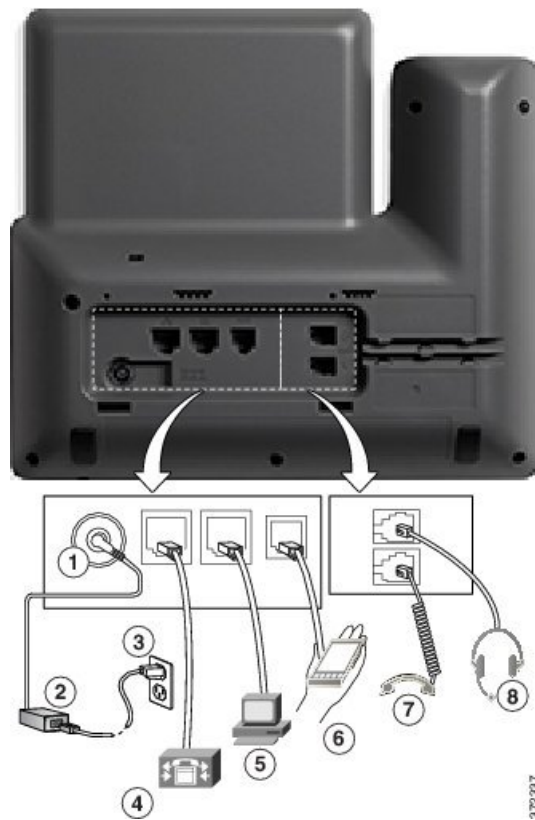
## Cisco IP Phone 8841 および 8845

以降の項では、Cisco IP Phones 8841 および 8845 の属性について説明します。

### 電話機の接続

次の図を使用して、企業 IP テレフォニー ネットワークに電話機を接続します。





1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100/1000 PC) 接続
2	AC-DC 電源装置 (任意)	6	補助ポート
3	AC 電源コンセント (任意)	7	ハンドセットの接続
4	ネットワーク ポート (10/100/1000 SW) 接続 IEEE 802.3at 電源対応。	8	アナログ ヘッドセット接続 (任意)




(注) Cisco IP Phone 8841 および 8845 は、Cisco IP Phone 8800 キー拡張モジュールをサポートしていません。









## ボタンとハードウェア






Cisco IP Phone 8841 と 8845 は同じボタンとハードウェア構成を共有しますが、Cisco IP Phone 8845 はビデオカメラが電話機上部に取り付けられています。画像は Cisco IP Phone 8841 です。



1	ハンドセットのライトストリップ	着信コール（赤く点滅）または新しいボイスメッセージ（赤く点灯）があることを示します。
2	電話スクリーン	電話機に関する情報（電話番号、アクティブコールと回線のステータス、ソフトキーオプション、スピードダイヤル、発信コール、および電話機のメニューなど）を表示します。

<p>3</p> <p>プログラム可能な機能ボタンとセッションボタン</p> 	<p>電話機には、電話回線、機能、コールセッションに簡単にアクセスできる次のようなボタンがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プログラム可能な機能ボタン（左側）：回線のコールの表示、またはスピードダイヤルやすべてのコールなどの機能へのアクセスに使用します。これらのボタンは機能ボタンとも呼ばれます。</li> <li>• セッションボタン（右側）：コールへの応答、保留中のコールの再開、または（アクティブコールで使用していない場合）不在着信の表示などの電話機能の開始を含むタスクに使用します。電話機の各コールは、セッションボタンに関連付けられています。</li> </ul> <p>(注) アラビア語など右から左に読むロケールを使用する場合、ラインボタンとセッションボタンの位置は入れ替わります。</p> <p>システム管理者が行った電話機の設定に応じて、ボタンは次のいずれかにアクセスします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話回線およびインターコム回線</li> <li>• 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤルボタン、回線ステータス短縮ダイヤル機能を含む）</li> <li>• Web ベースのサービス（個人アドレス帳ボタンなど）</li> <li>• コール機能（プライバシーボタンなど）</li> </ul> <p>表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑、点灯：アクティブコールまたは双方向のインターコムコール</li> <li>• 緑、点滅：保留コール</li> <li>• オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中、一方向のインターコムコール、サイレントがアクティブ、またはハントグループにログイン中</li> <li>• オレンジ、点滅：着信コールまたは復帰コール</li> <li>• 赤色、点灯：リモート回線の使用中（共有回線または回線ステータス）</li> <li>• 赤、点滅：リモート回線が保留中</li> </ul>	<p>電話機には、電話回線、機能、コールセッションに簡単にアクセスできる次のようなボタンがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プログラム可能な機能ボタン（左側）：回線のコールの表示、またはスピードダイヤルやすべてのコールなどの機能へのアクセスに使用します。これらのボタンは機能ボタンとも呼ばれます。</li> <li>• セッションボタン（右側）：コールへの応答、保留中のコールの再開、または（アクティブコールで使用していない場合）不在着信の表示などの電話機能の開始を含むタスクに使用します。電話機の各コールは、セッションボタンに関連付けられています。</li> </ul> <p>(注) アラビア語など右から左に読むロケールを使用する場合、ラインボタンとセッションボタンの位置は入れ替わります。</p> <p>システム管理者が行った電話機の設定に応じて、ボタンは次のいずれかにアクセスします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話回線およびインターコム回線</li> <li>• 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤルボタン、回線ステータス短縮ダイヤル機能を含む）</li> <li>• Web ベースのサービス（個人アドレス帳ボタンなど）</li> <li>• コール機能（プライバシーボタンなど）</li> </ul> <p>表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑、点灯：アクティブコールまたは双方向のインターコムコール</li> <li>• 緑、点滅：保留コール</li> <li>• オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中、一方向のインターコムコール、サイレントがアクティブ、またはハントグループにログイン中</li> <li>• オレンジ、点滅：着信コールまたは復帰コール</li> <li>• 赤色、点灯：リモート回線の使用中（共有回線または回線ステータス）</li> <li>• 赤、点滅：リモート回線が保留中</li> </ul>
--	---	---

4	ソフトキー ボタン 	システム管理者が行った電話機の設定に応じて、有効なソフトキー オプションが電話スクリーンに表示されます。
5	ナビゲーションクラスタと選択ボタン 	ナビゲーションクラスタと選択ボタンにより、メニューのスクロールや項目の強調表示、強調表示された項目の選択ができます。
6	リリース ボタン 	接続されたコールまたはセッションを終了します。
7	保留/復帰ボタン 	アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。
8	会議ボタン 	会議コールを開始します。
9	転送ボタン 	コールを転送します。
10	スピーカーフォン ボタン 	スピーカーフォンモードのオン/オフを切り替えます。スピーカーフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。
11	ミュート ボタン 	マイクロフォンモードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。
12	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットモードのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているときは、ボタンが点灯します。

13	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、また項目番号を入力してメニュー項目の選択を行います。
14	音量ボタン 	受話器、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）および呼出音の音量（オンフック）を制御します。
15	連絡先ボタン 	[ディレクトリ (Directories) ]メニューを開閉します。連絡先ボタンを使用して、個人および社内のディレクトリにアクセスします。
16	アプリケーションボタン 	[アプリケーション (Applications) ]メニューを開閉します。アプリケーションボタンを使用して、電話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。
17	メッセージボタン 	ボイスメッセージングシステムを自動的にダイヤルします（システムによって異なります）。
18	戻るボタン 	直前の画面またはメニューに戻ります。
19	ハンドセット	電話機のハンドセットです。

## Cisco IP Phone 8851 および 8851NR

以降の項では、Cisco IP Phone 8851 および 8851NR の属性について説明します。

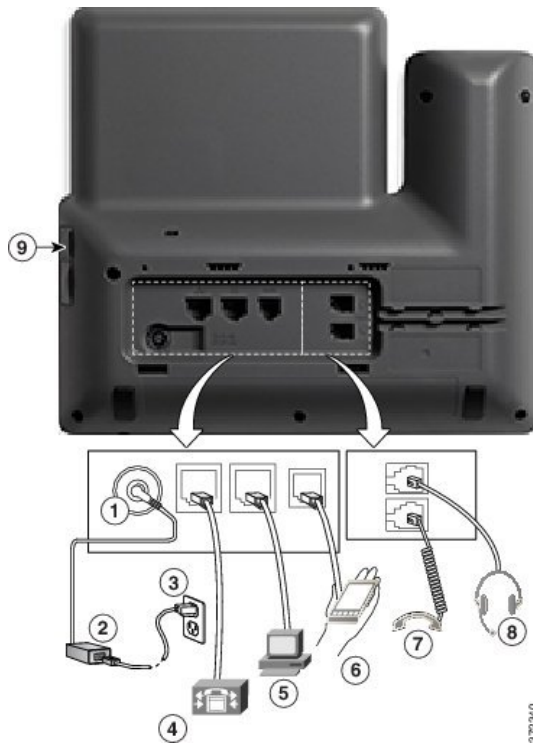


(注)

Cisco IP Phone 8851NR は Bluetooth をサポートしていません。Bluetooth をサポートしていないことを除き、Cisco IP Phone 8851 と Cisco IP Phone 8851NR は同じ機能をサポートしています。

## 電話機の接続

次の図を使用して、企業 IP テレフォニー ネットワークに電話機を接続します。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100/1000 PC) 接続	9	USB ポート
2	AC-DC 電源装置 (任意)	6	補助ポート		
3	AC 電源コンセント (任意)	7	ハンドセットの接続		
4	ネットワーク ポート (10/100/1000 SW) 接続 IEEE 802.3at 電源対応。	8	アナログ ヘッドセット接続 (任意)		




(注) 各 USB ポートは、最大 5 個のサポート対象デバイスおよびサポート外デバイスとの接続をサポートします。電話機に接続された各デバイスは、最大デバイス数に含まれます。たとえば、電話機は 5 台の USB デバイス（2 台の Cisco IP Phone 8800 キー拡張モジュール、1 台のヘッドセット、1 台のハブ、および 1 台の別の標準 USB デバイスなど）を側面ポートでサポートできます。多くのサードパーティ製 USB 製品は複数の USB デバイスとしてカウントされます。たとえば、USB ハブとヘッドセットを含むデバイスは、2 台の USB デバイスとしてカウントできます。詳細については、USB デバイスのマニュアルを参照してください。










## ボタンとハードウェア








1	ハンドセットのライトストリップ	着信コール（赤く点滅）または新しいボイスメッセージ（赤く点灯）があることを示します。
2	電話スクリーン	電話機に関する情報（電話番号、アクティブコールと回線のステータス、ソフトキーオプション、スピードダイヤル、発信コール、および電話機のメニューなど）を表示します。

<p>3</p> <p>プログラム可能な機能ボタンとセッションボタン</p> 	<p>電話機には、電話回線、機能、コールセッションに簡単にアクセスできる次のようなボタンがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プログラム可能な機能ボタン（左側）：回線のコールの表示、またはスピードダイヤルやすべてのコールなどの機能へのアクセスに使用します。これらのボタンは機能ボタンとも呼ばれます。</li> <li>• セッションボタン（右側）：コールへの応答、保留中のコールの再開、または（アクティブコールで使用していない場合）不在着信の表示などの電話機能の開始を含むタスクに使用します。電話機の各コールは、セッションボタンに関連付けられています。</li> </ul> <p>(注) アラビア語など右から左に読むロケールを使用する場合、ラインボタンとセッションボタンの位置は入れ替わります。</p> <p>システム管理者が行った電話機の設定に応じて、ボタンは次のいずれかにアクセスします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話回線およびインターコム回線</li> <li>• 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤルボタン、回線ステータス短縮ダイヤル機能を含む）</li> <li>• Web ベースのサービス（個人アドレス帳ボタンなど）</li> <li>• コール機能（プライバシーボタンなど）</li> </ul> <p>表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑、点灯：アクティブコールまたは双方向のインターコムコール</li> <li>• 緑、点滅：保留コール</li> <li>• オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中、一方向のインターコムコール、サイレントがアクティブ、またはハントグループにログイン中</li> <li>• オレンジ、点滅：着信コールまたは復帰コール</li> <li>• 赤色、点灯：リモート回線の使用中（共有回線または回線ステータス）</li> <li>• 赤、点滅：リモート回線が保留中</li> </ul>
--	---



4	ソフトキー ボタン 	システム管理者が行った電話機の設定に応じて、有効なソフトキー オプションが電話スクリーンに表示されます。
5	ナビゲーション クラス タと選択ボタン 	ナビゲーション クラス タと選択ボタンにより、メニューのスクロールや項目の強調表示、強調表示された項目の選択ができます。
6	リリース ボタン 	接続されたコールまたはセッションを終了します。
7	保留/復帰ボタン 	アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。
8	会議ボタン 	会議コールを開始します。
9	転送ボタン 	コールを転送します。
10	スピーカーフォン ボタ ン 	スピーカーフォン モードのオン/オフを切り替えます。スピーカーフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。
11	ミュート ボタン 	マイクロフォン モードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。
12	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセット モードのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているときは、ボタンが点灯します。

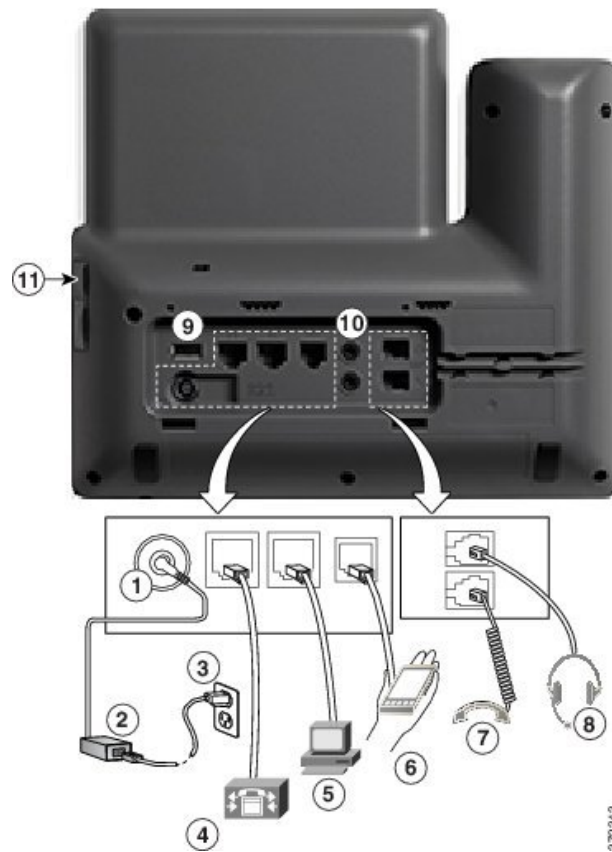
13	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、また項目番号を入力してメニュー項目の選択を行います。
14	音量ボタン 	受話器、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）および呼出音の音量（オンフック）を制御します。
15	連絡先ボタン 	[ディレクトリ (Directories)] メニューを開閉します。連絡先ボタンを使用して、個人および社内のディレクトリにアクセスします。
16	アプリケーションボタン 	[アプリケーション (Applications)] メニューを開閉します。アプリケーションボタンを使用して、電話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。
17	メッセージボタン 	ボイス メッセージング システムを自動的にダイヤルします (システムによって異なります)。
18	戻るボタン 	直前の画面またはメニューに戻ります。
19	[ハンドセット (Handset)]	電話機のハンドセットです。

## Cisco IP Phone 8861 および 8865

以降の項では、Cisco IP Phones 8861 および 8865 の属性について説明します。

### 電話機の接続

次の図を使用して企業 IP テレフォニー ネットワークに電話機を接続します。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	6	補助ポート	11	USB ポート
2	AC-DC 電源装置 (任意)	7	ハンドセットの接続		
3	AC 電源コンセント (任意)	8	アナログ ヘッドセット接続 (任意)		
4	ネットワーク ポート (10/100/1000 SW) 接続 IEEE 802.3at 電源対応。	9	USB ポート		
5	アクセスポート (10/100/1000 PC) 接続	10	オーディオイン/アウトポート		




(注) 各 USB ポートは、最大 5 個のサポート対象デバイスおよびサポート外デバイスとの接続をサポートします。電話機に接続された各デバイスは、最大デバイス数に含まれます。たとえば、電話機では 5 台の USB デバイス（たとえば 3 台の Cisco IP Phone 8800 キー拡張モジュール、1 台のハブ、もう 1 台の標準 USB デバイス）を側面ポートでサポートし、さらに 5 台の標準 USB デバイスを背面ポートでサポートできます。多くのサードパーティ製 USB 製品は複数の USB デバイスとしてカウントされます。たとえば、USB ハブとヘッドセットを含むデバイスは、2 台の USB デバイスとしてカウントできます。詳細については、USB デバイスのマニュアルを参照してください。







## ボタンとハードウェア






Cisco IP Phone 8861 と 8865 は同じボタンとハードウェア構成を共有しますが、Cisco IP Phone 8865 はビデオカメラが電話機上部に取り付けられています。Cisco IP Phone 8861 を以下に示します。



1	ハンドセットのライトストリップ	着信コール（赤く点滅）または新しいボイスメッセージ（赤く点灯）があることを示します。
2	電話スクリーン	電話機に関する情報（電話番号、アクティブコールと回線のステータス、ソフトキーオプション、スピードダイヤル、発信コール、および電話機のメニューなど）を表示します。

<p>3</p> <p>プログラム可能な機能ボタンとセッションボタン</p> 	<p>電話機には、電話回線、機能、コールセッションに簡単にアクセスできる次のようなボタンがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プログラム可能な機能ボタン（左側）：回線のコールの表示、またはスピードダイヤルやすべてのコールなどの機能へのアクセスに使用します。これらのボタンは機能ボタンとも呼ばれます。</li> <li>• セッションボタン（右側）：コールへの応答、保留中のコールの再開、または（アクティブコールで使用していない場合）不在着信の表示などの電話機能の開始を含むタスクに使用します。電話機の各コールは、セッションボタンに関連付けられています。</li> </ul> <p>(注) アラビア語など右から左に読むロケールを使用する場合、ラインボタンとセッションボタンの位置は入れ替わります。</p> <p>システム管理者が行った電話機の設定に応じて、ボタンは次のいずれかにアクセスします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話回線およびインターコム回線</li> <li>• 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤルボタン、回線ステータス短縮ダイヤル機能を含む）</li> <li>• Web ベースのサービス（個人アドレス帳ボタンなど）</li> <li>• コール機能（プライバシーボタンなど）</li> </ul> <p>表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑、点灯：アクティブコールまたは双方向のインターコムコール</li> <li>• 緑、点滅：保留コール</li> <li>• オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中、一方向のインターコムコール、サイレントがアクティブ、またはハントグループにログイン中</li> <li>• オレンジ、点滅：着信コールまたは復帰コール</li> <li>• 赤色、点灯：リモート回線の使用中（共有回線または回線ステータス）</li> <li>• 赤、点滅：リモート回線が保留中</li> </ul>
--	---

4	ソフトキー ボタン 	システム管理者が行った電話機の設定に応じて、有効なソフトキー オプションが電話スクリーンに表示されます。
5	ナビゲーションクラスタと選択ボタン 	ナビゲーションクラスタと選択ボタンにより、メニューのスクロールや項目の強調表示、強調表示された項目の選択ができます。
6	リリース ボタン 	接続されたコールまたはセッションを終了します。
7	保留/復帰ボタン 	アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。
8	会議ボタン 	会議コールを開始します。
9	転送ボタン 	コールを転送します。
10	スピーカーフォン ボタン 	スピーカーフォンモードのオン/オフを切り替えます。スピーカーフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。
11	ミュート ボタン 	マイクロフォンモードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。
12	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットモードのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているときは、ボタンが点灯します。

13	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、また項目番号を入力してメニュー項目の選択を行います。
14	音量ボタン 	受話器、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）および呼出音の音量（オンフック）を制御します。
15	連絡先ボタン 	[ディレクトリ (Directories) ]メニューを開閉します。連絡先ボタンを使用して、個人および社内のディレクトリにアクセスします。
16	アプリケーション ボタン 	[アプリケーション (Applications) ]メニューを開閉します。アプリケーション ボタンを使用して、電話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。
17	メッセージ ボタン 	ボイス メッセージング システムを自動的にダイヤルします (システムによって異なります) 。
18	戻るボタン 	直前の画面またはメニューに戻ります。
19	ハンドセット	電話機のハンドセットです。

## 用語の違い

次の表に、『Cisco IP Phone 8800 Series User Guide for Cisco Unified Communications Manager』、『Cisco IP Phone 8800 Series Administration Guide for Cisco Unified Communications Manager』、および『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』との間に見られる用語の違いについて示します。

表 1: 用語の違い

ユーザ ガイド	アドミニストレーション ガイド
回線ステータス	ビジー ランプ フィールド (BLF)

ユーザガイド	アドミニストレーションガイド
メッセージインジケータ	メッセージ受信インジケータ (MWI) またはメッセージ受信ランプ
プログラム可能な機能ボタン	プログラム可能なボタンまたはプログラム可能な回線キー (PLK)
[簡易発信 (New Call)] ウィンドウ	[簡易発信 (New Call)] バブル
ボイスメールシステム	ボイスメッセージシステム